#### ■関連ソリューション

カテゴリー	分類		概略説明	主な関連ソリューション
スマートファクトリー	設計		設計・製造BOM連携、設計情報の一元管理。部品共通化・流 用設計による設計と生産のシームレスな連携を実現。	● 設計コラボレーション製品データ管理システム PTC Windchill ● Hi-PerBT Advanced BOM* <sup>3</sup> ● 類似図面検索ソリューション ● 気付き支援CADシステム(DS-DRS)* <sup>1</sup> ほか
	生産	生産計画	製品と調達部品を紐づけて計画し、タイムリーかつ正確な製造進捗を把握。	●生産計画システム[SynPIX]* <sup>2</sup> ●生産計画ソリューション[SynPLA]* <sup>2</sup> ●PPO-DS (Production Plan Optimization-Dynamic Scheduling)* <sup>1</sup> ●工場シミュレーター* <sup>1</sup> ほか
		設備効率	基準値やマスタの整備・一元管理。多品種少量生産での計画策定。設備有効活用による生産性の向上。	● 加工組立ライン向けMESソリューション[VCIM-PA]*4 ●生産効率・べき動率改善[WellLine]*2 ● OEE分析・改善サービス ほか
		作業効率	過去の業務ノウハウのデジタル化による現場省人化。もの づくり産業における人手不足・密接・密集の解消。	●オンデマンド構内物流システム* <sup>1</sup> ●JTEKT IoE Solution(スキルアップNavi ほか)* <sup>5</sup> ●協働ロボット活用ソリューション* <sup>4</sup> ほか
	品質		品質バラツキ・手戻りの改善。品質不良の原因特定・不良予 兆の歩留り改善。	<ul><li>●画像判定トータルソリューション</li><li>●切削加工精度向上サービス</li><li>●組立ナビゲーションシステム ほか</li></ul>
	安全		危険作業での見落とし・作業手順誤りの課題人・モノの動き の見える化。熟練者による、点検手順・状態のリアルタイム な監視。	●労働安全衛生トータルソリューション ■ GeoMation 屋内位置把握ソリューション ■ GeoMation 作業員安全支援ソリューション ほか
	基盤		OT×ITでデータの利活用を推進するデジタル基盤。	●生産現場デジタルツイン化ソリューション[IoTコンパス]* <sup>1</sup> ●データ収集・加工・蓄積ソリューション[Hitachi Data Hub]* <sup>1</sup> ほか
グローバル サブライチェーン マネジメント	サプライチェーン計画		需要予測や生産計画の策定・調達や、生産・配送などの計画 の最適化。在庫状況や連結原価可視化など。	●グローバルSCMシミュレーションサービス ●需要予測支援システム「ForecastPRO」* <sup>2</sup> ●生産計画システム「SynPIX」(ほか)
	サプライチェーン実行		計画実行のための現場業務支援。生産管理・原価管理・在庫 管理など。	●Hi-PerBT Advanced 生産管理*3 ●工程管理表・プロジェクト管理[SynViz S2]*2 ほか
	貿易コンプライアンス		厳格な安全保障貿易管理の履行と業務効率化の両立。貿易 業務の効率化とコンプライアンス強化の実現。	●安全保障貿易管理ソリューション ●貿易帳票電子保管ソリューション ●原産地証明書管理サービス ほか
サービ タイゼーション	モノからコト売り		サービス事業のアイデア出しから、必要なバックオフィス機能(顧客管理・サービスプラン・課金・請求・決済など)をトータルにサポート。	●顧客管理・課金・請求ソリューション BSSsymphony ●ポイント管理ソリューション PointInfinity ほか
	遠隔監視		IoT搭載製品や設備をネットワークを通じてモニタリングする遠隔監視サービス。IoTセンサーから稼動データや温度、品質要因などのデータを収集し、予知型保守などが可能。	●クラウドインテグレーション for Microsoft Azure ●M2M 遠隔施設管理システム M2M Remote Factory Manager
	フィールド業務支援		サービスの受付から、エンジニアの派遣・作業指示・業務報告 に至る一連のフィールドサポート業務の迅速化と効率化を 促進し、収益性向上と顧客満足度向上を支援。	●Microsoft Dynamics 365 CRMシステム構築サービス ●フィールド業務情報共有システム ●マニュアル制作ツール WikiWorks ほか
経営 マネジメント	経営·現場可視化		グローバル・グループ全体での連結経営情報の可視化。 また、製造現場の膨大なビッグデータや経営情報もリアル タイムに分かりやすく可視化。	● Dr.Sum·MotionBoard 導入活用ソリューション ● BIコンシェルジェサービス ● SAS Analytics ほか
	コストマネジメント		製品の企画から目標原価を設定し、VE活動を通して原価の 最適化を図る原価企画と精度の高い原価管理。	●コストマネジメントソリューション
	ポストモダンERP		固有業務をERPコアに、その他業務をクラウドシフト。基幹 システムを短期間に低コストで構築、環境変化・法改正にも 柔軟に適応。	● Microsoft Dynamics 365 統合ERP構築サービス ●生産・販売・原価統合パッケージ mcframe ● SAPソリューション ほか

<sup>\*1:</sup>日立製作所の商品です。 \*2:日立ソリューションズ東日本の商品です。 \*3:日立ソリューションズ西日本の商品です。 \*4:日立ソリューションズ・テクノロジーの商品です。 \*5:ジェイテクトの商品です。

※本カタログ中の会社名、商品名は各社の商標、または登録商標です。※本文中および図中では、TMマーク、®マークは表記しておりません。※製品の仕様は、改良のため、予告なく変更する場合があります。 ※本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法ならびに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認の上、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明な場合は、当社担当営業にお問い合わせください。※本カタログ中の情報は、カタログ作成時点のものです。

### ◎ 株式会社 日立ソリューションズ

www.hitachi-solutions.co.jp



本カタログ掲載商品・サービスの詳細情報 www.hitachi-solutions.co.jp/smart-manufacturing/



製造現場と経営をつなぐ

# スマートマニュファクチャリング ソリューション



# 製造現場と経営をつなぐ 「スマートマニュファクチャリング ソリューション」

不確実・複雑で先を見通せない昨今、持続可能な事業継続と発展のためには、

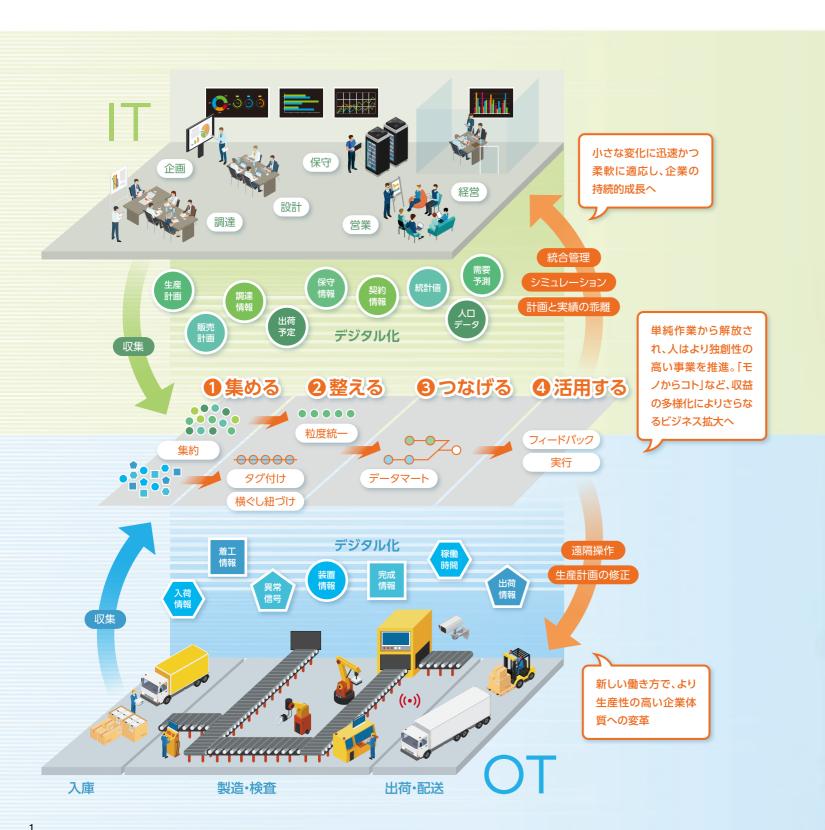
"新しい働き方による企業体質への変革"と"協業·共創によるビジネス拡大"の両輪を推進しなければなりません。

そのためには、経営の意思決定に必要な根拠を可視化・定量化し、小さな変化を感知・解析することで 有機的に連動して対応する仕組み、DX(デジタルトランスフォーメーション)が必要です。

日立ソリューションズの「スマートマニュファクチャリングソリューション」は、

OT(制御システム)とIT(情報システム)をシームレスにつなぐ仕組みを提供し、

変化に対して柔軟で強靭な製造業への進化を提案します。



### ● 集める

現場でバラバラに保管されているデータや、 まだデジタル化されていないアナログデータをデジタル化し、集約します。

### 2 整える

製造現場のOTデータは非常に細かく、さらに工程ごとで粒度が異なるため、 粒度の統一やタグ付け・横ぐし紐づけなどの処理を施します。 また、ITデータも同様に粒度の統一などを実施します。

### 3 つなげる

現場のデータを経営の意思決定で活用できる形にする必要があります。 そのためには実績値(OTデータ)や計画値(ITデータ)を組み合わせて、 業務にすぐ活用できるデータとして定義します。

### 4 活用する

変化に対して柔軟・迅速に対応するためのシミュレーションなど、 各業務で必要な情報を活用・実行します。

### 重要なのは、活用を目的とした「デジタル化」の推進。

日立ソリューションズの「スマートマニュファクチャリングソリューション」が、

製造現場の成熟レベルに合わせた、ステップアップ推進を支援します。

### IT企業の日立ソリューションズがなぜOT?

株式会社ジェイテクト\*など、 OTを得意とする企業・団体 との協業(オープンイノベー ション)を推進し、お客様の 課題に合わせて最適なソ リューションを提案します。



有しています。その豊富 な実績をもとに、OTとIT の最適な組み合わせを



アナログのデジタル化

\*:ジェイテクトと日立ソリューションズは、2019年よりスマートファクトリー分野で協業しています。

日立ソリューションズのスマートマニュファクチャリングソリューション

課題解決の「業務カテゴリー」を4つの領域で整理。

お客様の実際の業務を意識した上で、

製造業の「デジタル化」を強力に支援します。

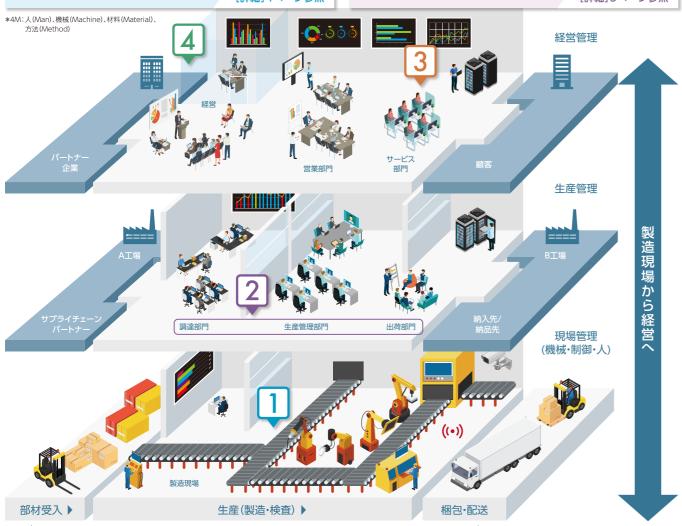
### 1 スマートファクトリー

IoTやAI、画像解析など、先進のデジタル技術により4M\*データを収集し、サイバー空間でモデル化・シナリオシミュレーション。工場全体の最適化と変化への柔軟な対応を実現し、企業のグローバル競争力の強化を推進します。

### 2 グローバルサプライチェーンマネジメント

需要の多様化や国際貿易の急激な環境変化などに対し、IoTやAIを活用。これにより、サプライチェーン全体の計画と実績をグローバルで最適化し、QCDR(品質・コスト・納期・リスク)の向上を支援します。

[詳細]5ページ参照



### End to End バリューチェーン

### 3 サービタイゼーション

新常態により企業や人々の価値観が変化し、新たなつながりに付加価値を見出すことで、製造業も「モノからコト」へのビジネスモデルの多様化が急務。サービタイゼーション(サービス化)により収益の多様化、企業競争力の強化に貢献します。

[詳細]6ページ参照

### 4 経営マネジメント

急激な需要変動やグローバルでの価格競争で勝ち残るためには、 調達・生産・販売を全体最適の視点で見直して、さまざまな場面で他社 と協創し、自社の強みを最大化することが必要。そのための経営マネ ジメントの整備を促進します。

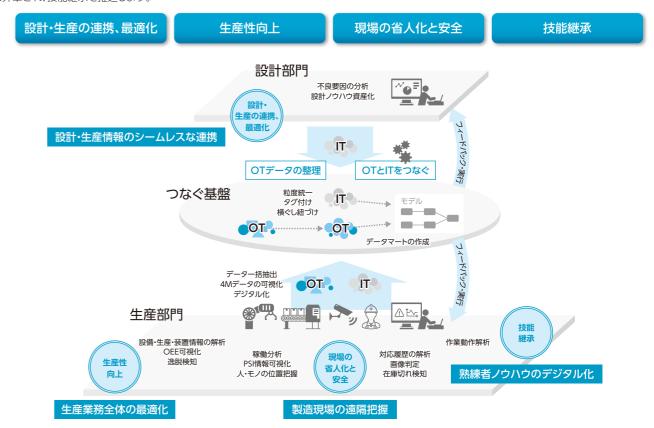
[詳細]6ページ参照

## 1

### スマートファクトリー

- 製造現場をよりスマートに、より効率的に -

スマートファクトリーは、さまざまな機器や製造実行システム(MES)、基幹システム(ERP)などがネットワークでつながった工場です。国内外の工場を遠隔 監視し、どこで、何が起きているのか、稼働状況や問題をリアルタイムに可視化します。また、ロボットや自動判別システムの導入により、現場の省人化が可能です。設計と生産現場のデータ連携によって、設計・生産業務の最適化が実現できます。さらに、製造現場のデジタル化により熟練者のノウハウが組織知に昇華され、技能継承を推進します。



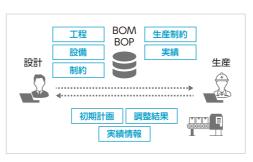
### ユースケース

#### 設計・生産情報のシームレスな連携

設計・製造、各種目的別BOMを管理し、設計と製造を仲介するBOPを登録。これにより工程・設備・制約など、マスタ情報の統合管理を実現。



製品・工程情報を全社統合マスタ化することにより、全体業務プロセスのムダ・ムラ・ミスを撲滅し、属人性を排除。工程設計以降の手戻りを削減。

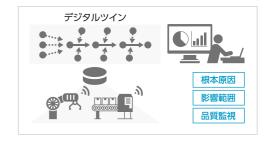


#### 生産業務全体の最適化支援

バラバラに管理されている各工程のデータをつなぎ、デジタル空間 に生産プロセスを再現し全体最適を実現。



デジタル空間に生産プロセス(デジタルツイン)を再現し、根本原因追究、影響範囲の特定などを行い、生産工程にフィードバック。 「欠陥部品の工程やロット特定できる」「調査対象を絞り込み、 リコール対象を最小限にする」ことが可能。



3

## 2

## グローバルサプライチェーンマネジメント

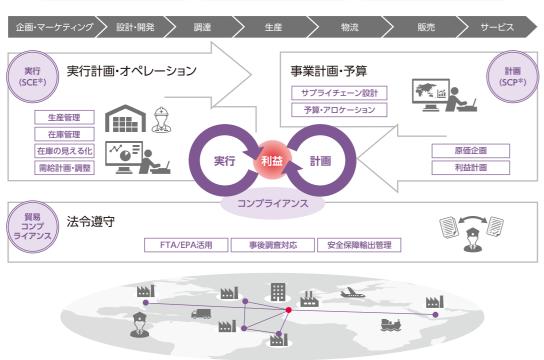
ー 想定外の変化を素早く感知・解析し、迅速に適応ー

生産活動をグローバルに展開する製造業においては、サプライチェーンマネジメント(SCM)の強化は避けて通ることはできません。想定外の変化に対し、サプライチェーンの即応性や柔軟性をさらに高めていく必要があります。環境の急激な変化においても、さまざまな視点で全体最適のシナリオを選択することが重要です。サプライチェーンにIoTやAIといったデジタル技術を取り込むことで、「どこに無駄があるのか」「どこを改善すべきか」といった全体最適の視点で分析と解決策の発見も可能です。

サプライチェーン計画

サプライチェーン実行

貿易コンプライアンス



\*SCE:Supply Chain Execution、SCP:Supply Chain Planning

### ユースケース

#### シミュレーションによる販売・生産計画の最適化

営業・製造・調達部門を横断した共通的な計画情報を管理。数理解析の技術を用い、条件を満たす理論上全ての販売・生産計画のシミュレーションを実行。



シミュレーションから得た最適な販売・生産計画情報を部門間で共有でき、最新かつ公正な情報で全体最適を実現。利益が最大となる販売・生産計画を立案可能。



### 安全保障貿易管理の電子化

安全保障貿易管理の電子化と業務改革を並行推進。紙ベースの作業から、審査業務の電子化とエビデンスの電子保管でコンプライアンスを強化。



各部門の個別管理による非効率・属人性を排除し、審査業務の コンプライアンス強化とスピードアップを実現。輸出管理業務の 標準化も実施。

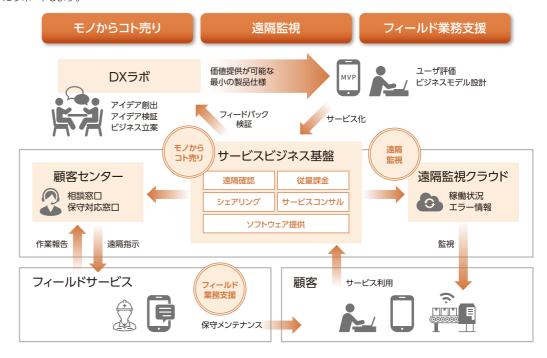


## 3

## サービタイゼーション

ー 時代に必要なサービスを提供し、未来を拓くー

これからは、製品をサービスとして提供し収益を上げる新しいビジネスモデル「サービタイゼーション(Servitization、サービス化)」が注目されています。製造業のサービス化で期待される価値として「価格競争からの脱却」「競合差別化」「景気変動の影響を受けにくい」「利用実態に応じた新サービスの提供」などがあげられます。日立ソリューションズのサービタイゼーションは、顧客協創ワークショップ「DXラボ」による新ビジネス創出の支援からサービスの迅速な立ち上げまで、トータルにサポートします。

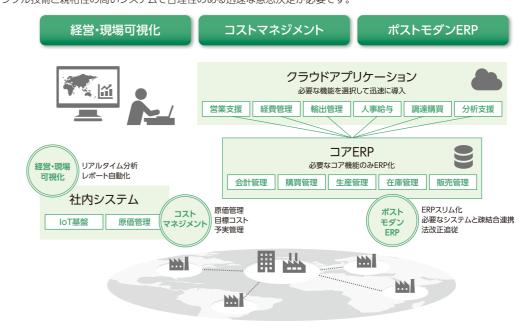


## 4

## 経営マネジメント

ー スピーディーな事業変革をもたらすための経営マネジメントー

激変のビジネス環境において、安定的に利益を確保し事業継続や発展を図るには現状を的確に把握し、自社の強みを生かすマネジメントの仕組みを整備することが不可欠です。生産・販売・原価などのデータを収集し、分析することで製品別の利益構造を可視化します。さらに、ビジネスの俊敏性と柔軟性向上のために、最先端のデジタル技術と親和性の高いシステムで合理性のある迅速な意思決定が必要です。



 $\mathsf{5}$